

入浴リフト『つるべー』が導入されました

介護老人保健施設 平成の森

通所リハビリの大浴場に新しい入浴用リフト『つるべー』が導入されました。ご利用様様の安全な移動・移乗を目的とするだけではなく、介護職員の腰痛対策にもなっています。入浴ボードを使用し二人介助で個浴に入っていた方を対象に使用を開始しました。

『つるべー』を利用された方々は「思ったより揺れなくて怖くなかった」「職員さんに手を借りるのが悪いと思っていたけど、これならば気がらく」「湯船の中を歩かなくてもよく、安心」等、とても好評でした。

『つるべー』の導入により、一人ひとりにあった入浴方法を提供するとともに、今まで以上に安心・安全な入浴介助に努めます。
通所リハビリ 松澤 結衣



車椅子・椅子のシーティング勉強会を行いました

平成の森・川島病院



リハビリテーション部でシーティングの勉強会を行いました。シーティングとは、椅子や車椅子に座っている方の姿勢を確認し、座面や背もたれの調整・クッション選びや車椅子購入に際しての助言を行うことです。座る角度や硬さを調整することで、長く座っていても快適で立ち上がりのしやすい座位姿勢を目指します。座っている姿勢は、立ち座りのしやすさだけでなく、食事の飲み込みやすさにも影響するため、とても大事だと考えています。今回は、資料を基に学習を行った後、スタッフ同士で「今すぐ楽に座れてる!」「お尻が前にずれる感じがして長く座っていると疲れるかも…」などと議論しながら実際にシーティングを体験しました。患者様に、座っていて快適で立ち座りのしやすい姿勢を保っていただけるように、今後もこのような勉強会を重ねていきます。
リハビリテーション部 後藤 良介

いきいき脳トレクラブ

介護老人保健施設 平成の森

昨年度から、月に一度の「いきいき脳トレクラブ」が新たにスタートしました。楽しさの中にゲーム要素を取り入れ、競い合う事で脳に刺激を与えていき、認知機能の低下を防いでいく事が目的のクラブ活動です。

今月は卓上ボウリングを行い、各フロアから1名ないし2名ずつ、独歩の方や車椅子の方5名のご利用者様に参加していただきました。ユニットで行なわれるレクリエーションとは違い、小人数で密度の濃い内容で行われるので、点数を競い合いながらも、和気あいあいとした雰囲気の中に行われました。優勝した方は大喜びで、他の皆さんも接戦に満足げにお帰りになりました。次回はまた趣向を変えたゲームを提供し、参加した皆さんが満足出来るようなクラブ活動を目指していきたくと思います。



優勝した方は大喜びで、他の皆さんも接戦に満足げにお帰りになりました。次回はまた趣向を変えたゲームを提供し、参加した皆さんが満足出来るようなクラブ活動を目指していきたくと思います。
看護・介護科 吉野 幸男



リハビリ室の壁には、患者様とスタッフが共同で製作した四季を感じる作品が飾られています。病院生活では居室やリハビリ室で過ごすことが多く、生活場面で季節を感じる機会が少ない状態にあります。視覚的に季節を感じてもらえたらという思いから、四季を想起する作品を飾るようしており、今回は、“秋と言えば”ということで十五夜とブドウの作品を製作しました。一緒に製作する中で、季節の話題や思い出話も想起され、楽しく製作できるのも作品作りの醍醐味と言えます。壁に飾られる頃になると「秋だねえ」「ブドウの時期だねえ」と秋を彷彿する会話が飛び交うのでリハビリ室も秋のムードに染まっていき、秋を実感する機会となっています。

今後も、四季を感じる作品を患者様と楽しく共同製作できるように作品のアイデアを出していきたいと思います。

リハビリテーション部 岩元 謙志

文化展出展

介護老人保健施設 平成の森



通所リハビリでは毎年、地域交流として川島中央文化展への出品をしています。夏を過ぎたあたりから様々な作品作りを始めています。今年は「組み合わせ色鉛筆アート」と「こよりで作った花」を出展しました。

今回はこよりで作った花を紹介します。小さく切った「お花紙」をこより、花の下絵にのりで貼って色味をつける。それをファイルに挟み木の枝で枠(額)を作るといったものです。思った以上に、こよりを作る作業が盛り上がり、指先がしびれている方や麻痺のある方でも熱中して作られていました。

指先を使い、色彩の作品を作り上げることが、脳への刺激になることは言うまでもありません。普段創作レク活動に消極的な方でも、楽しんで行えたことが今回の一番の収穫だと思っています。

通所リハビリ 吉田 将輝



老健平成の森では、10月16日に毎年恒例の収穫祭を行いました。新米を炊いておにぎりにし、昼食時に提供しました。おにぎりの中身は梅と昆布の2種類で、職員がおにぎりを握ります。いつもと違う雰囲気、ご利用者も興味津々です。実際におにぎりを提供すると、「もう新米の季節なんだ」「甘くて美味しい」と好評で、「おかわりはいかがですか?」とフロアを回ると、普段はそれほど食べない方も手を挙げてくださり、喜んで召し上がっていました。

日々の生活や社会は大きく変わり、皆で祝祭を祝うことが現在では難しくなりましたが、自然からの恵みに心を向ける時間を少しでも持つことで、豊かな気持ちで過ごして頂ければ幸いです。今後も四季の流れを感じて頂けるような、季節感のあるイベントを企画していきたいと思っております。

看護・介護科 吉野 幸男

編集後記 季節や景色の移り変わりを楽しみたい

今年は10月になってもなかなか気温が下がりませんでしたが、この編集後記を執筆している11月上旬、川島ロイヤル・ワム・タウンの周辺では赤や黄色に色づいた木々をようやく楽しめるようになりました。テレビでも栃木県日光市などの紅葉の名所を取り扱った旅番組をよく見るようになり、季節の移り変わりを感心します。冬を間近に控えた現在、平成の森・川島病院ではクリスマス飾りが登場し始めました。かわいらしいリースやモニュメントが私たちの目を楽しませてくれています。今までの冬は寒くて引きこもりがちでしたが、今年は外に出かけて季節や景色の移り変わりを楽しんでいきたいと思っております。

総務課 村岡 友恵

川島ロイヤル・ワム・タウン



平成の森・川島病院	電話 049 (297) 2811
ロイヤルケアホーム川島(サービス付き高齢者向け住宅)	電話 049 (299) 0880
訪問看護ステーション 平成の森	電話 049 (297) 8331
介護老人保健施設 平成の森	電話 049 (297) 8808
居宅介護支援事業所 きすな	電話 049 (297) 8797
川島クリニック	電話 049 (297) 8783